

2009年3月30日

長興山紹太寺 小田原市指定天然記念物シダレザクラ 組織培養による苗木（クローン桜）の増殖に成功

住友林業株式会社(社長:矢野龍 本社:東京都千代田区丸の内1丁目8番1号、以下住友林業)は、シダレザクラの組織培養によるクローン苗の大量増殖技術の確立に成功しておりますが、その技術を用いてこの度、長興山紹太寺（住職:武内徳昭 住所:神奈川県小田原市入生田303）のシダレザクラのクローン苗の増殖に成功しましたのでお知らせいたします。本技術は、住友林業筑波研究所にて研究開発した醍醐寺境内三宝院の大玄関前のシダレザクラの組織培養技術を応用したものです。

長興山紹太寺のシダレザクラは、その優美な枝ぶりから江戸時代には「瓔珞桜（ようらくざくら）」とも呼ばれ永く人々に親しまれており、現在は小田原市指定の天然記念物であり、また「かながわの名木百選」にも指定されています。花は白色単弁で、樹高約13m、幹周り3.8m。枝張りは東西12m、南北13m。樹齢約340年を超えと言われる、神奈川県のみならず、関東では比類なき名木で、花の季節にはその堂々とした姿で人々を迎えてくれますが、近年樹勢の衰えが心配されておりました。

今回のクローン苗の増殖の成功により、本技術が樹齢や樹勢に関係なく適用可能であることが立証できました。住友林業では、今後さらに全国の名木、貴重木の樹勢回復やクローン増殖技術を用いた後継稚樹の保存・育成を推進し、街のシンボリックな名木を枯死させることなく後代へ伝えていくことで、事業を通し街づくりの発展へ貢献することをめざして参ります。



【長興山紹太寺のシダレザクラ】

■ 長興山紹太寺シダレザクラ クローン苗開発経緯

2002年	住友林業筑波研究所より、紹太寺のシダレザクラのクローン増殖について相談させて 頂き、紹太寺・小田原市より承諾を得る。	頂
2003年2月	研究開始。紹太寺シダレザクラより材料採取。	
2009年3月	紹太寺シダレザクラのクローン苗の増殖に成功。	
今後の予定	苗の生長を観察、育成を進める。	



紹太寺シダレザクラのクローン苗

■ 長興山紹太寺

長興山紹太寺は臨済宗、曹洞宗と並ぶ日本禅宗三派のひとつ黄檗宗（おうばくしゅう）の寺院です。箱根駅伝の名物「山のぼり」の第5区小田原中継所から程近い入生田に位置する山寺で、小田原藩主稲葉氏一族の菩提寺です。初代城主の稲葉正勝の母親は徳川家光の乳母として有名な春日局で、2代目藩主稲葉美濃守正則が、寛文9(1669)年、父母と祖母春日局の霊を弔うために現在地へ移建し、シダレザクラを植栽したと言われてい

ます。
このシダレザクラは江戸時代「瓔珞桜（ようらくざくら）」*1と呼ばれ親しまれており、その名を刻字した石標が稲葉氏一族の墓所の入口にあります。紹太寺が移建された寛文9(1669)年に植栽されたとすると、樹齢は約340年と推定されます。

※1 “瓔珞（ようらく）”とは古くはインドの貴族が身につけていた珠玉や首飾りなどの装身具、または仏堂で天井から吊り下げられる装飾のことを指し、垂れ下がる物に“瓔珞”という言葉が使われるようになりました。

<長興山 紹太寺 ホームページ <http://www.choukouzan.com/index.shtml> >

住友林業(株) 筑波研究所 概要

- ・ 自然と人が共生できる環境づくりをめざして、1991年茨城県つくば市の「筑波研究学園都市」に設立。木材・建材、住宅、バイオ、環境といった「木」の総合的な活用をめざし、広く研究開発を行う。
住所：茨城県つくば市緑ヶ原3-2（つくばテクノパーク豊里内）
敷地：約25,000平方メートル

参考資料へ

以上

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272